



あたたかい地域の目！元気アップボランティア！

東三国中学校の教育活動には、地域の多くの方々に支援をいただき、生徒たちに関わっていただいています。たくさんの優しい大人の目が生徒を安定させています。ボランティアとして600人以上の方々に登録していただき、毎日の給食支援や図書館支援、放課後学習支援などに多くのボランティアさんが来校され、生徒達や先生とも交流を重ねてきています。

特に、給食支援では、昨年から校区小学校との親子方式により、調理したての温かくおいしい給食が提供されていますが、給食後の後片付けなどに手間と時間がかかります。生徒の休み時間の確保のためにも、ボランティアさんによる支援はゆとりを生み出し、落ち着いた学校生活を過ごすことができます。



▲ 毎日の給食を支援



▲ 地域の方々との交流

毎日、明るい笑顔で来校されて支援していただいている姿に頭のさがる思いです。本当にありがとうございます。

ジュニアリーダ結成式！感謝の気持ちを胸に！

地域のボランティア活動に対して、生徒のボランティア組織「ジュニアリーダ」が、6月28日に今年も結成されました。地域の清掃活動や各種行事に積極的に参加し活動をしします。

ジュニアリーダは、元気アップ活動の活性化に対し、生徒たちの感謝の気持ちを込めた、地域にむけて積極的な活動をするために組織されたもの

です。



地域の方と生徒との相互のボランティア活動は、「情働(じょうどう)の環流(かんりゅう)」として循環し、良い人間関係が育成されています。

また、今年3月には東北ボランティア研修に6名の生徒が参加しました。東北大震災の甚大な被害をうけ復興に立ちあがろうと懸命に取り組む、地元のジュニアリーダたちとの交流は、大きな成果を得ることができました。

自分たちにできることは何かないのかと、先日の九州北部大雨災害への募金活動にもその思いが溢れています。

それぞれに思いやる気持ちが、いろんな活動にあらわれ、生徒たちをリーダとして成長させているのを見ると、とても頼もしい気持ちになります。

3年修学旅行・1年一泊移住！絆を深めあえた！

5月23～25日、3年生は南九州鹿児島方面に修学旅行に行きました。中学生生活最後の宿泊行事をメリハリのある行動で活動でき、思い出に残るすばらしいものとすることができました。

民家に分かれての宿泊や農業体験では、心あたたまる人との交流が、一番心地よい環境であることを体感できました。国民休暇村での砂むし風呂



▲ 南さつま市民家への入村式



▲ 民泊をして農家体験

体験や皆で盛りあがったレクレーション大会など、どれも記憶に残る思い出深いものとなりました。

日々是好日(にちちこれこうじつ)、振り返ってみれば、良い日も、悪い日も、どれもかけがいのない一日。これはある禅僧侶の言葉です。ひとつひとつの行事が卒業に向けた最後の行事となります。どれも大切なものとして取り組んでほしいと願ってます。



▲ 砂むし風呂を体験



▲ 楽しかったレクレーション



▲ 野外炊飯でカレー作り



▲ 班ごとに宿泊

5月31日～6月1日、1年生は一泊移住で貝塚の府立少年自然の家に宿泊し活動を行いました。一泊移住は、大自然の中で宿泊しながら様々な活動を共にやり交流することで、これからの3年間を一緒に歩み、互いに刺激しあって成長していく仲間との絆を深めるための大切な行事です。中学校での新しい仲間との良い交流ができました。

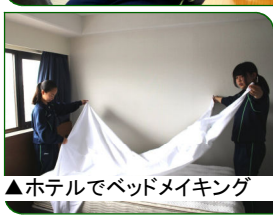
2年職業体験！将来の進路を考える機会に！

6月8～9日、2年生は校区内外の23事業所で職業体験学習を行いました。事前の学習としてマナーや言葉遣いなどを練習しました。わずか2日間の体験でしたが、どの職場でも丁寧に対応していただき、生徒達は働くことの大切さや、将来の進路について考えることができました。ありがとうございました。

生徒達は充実した体験活動ができ、報告会でも1年生へしっかり発表できました。



▲ 保育所で幼児の世話



▲ ホテルでベッドメイキング